

会誌「鉄と鋼」

寄稿規程改訂のお知らせ

実施：昭和50年1月から

日本鉄鋼協会では、今後の進むべき方向に対する指針をうるために、昭和47年11月に会員の中から抽出した505名の方々に広範囲の項目についてアンケートを出し、回答をしていただきました。それらの中で本誌「鉄と鋼」のあるべき姿についても多くの貴重な意見に接することができ、とくに現場技術関係の論文や資料、解説などの充実を望む声などいろいろの問題が提起されました。編集委員会ではこれらのご意見を整理し、検討を重ねて、改めるべき点や新たに採用すべき方策は、できることから着手するように努めております。

ところで、本会では昭和39年1月以来、論文のページ数制限はしないこととして今日に至りました。また先のアンケートでもページ数制限については、事実上これを行なっていない現状を是認する意見もございました。しかし、「鉄と鋼」への論文の投稿数は次第に増加しつつある半面、印刷費、用紙代、トレース代などの費用が著しく高騰し、そのため会誌1号当りの限られたページ内で、可能なだけ早期に、かつ多くの論文を掲載する必要に迫られてまいりました。このような状況に鑑み昨年以來十分検討を重ねました結果、論文については不本意ながらページ制限を設けること、印刷作業の簡素化と経費節約のため図面原稿の著者による墨入れなどを骨子とする規程の改訂を実施することになりました。ただし現場記事などの充実をはかるため技術報告については、ページ数制限を緩和いたしました。

以下にその主な改訂箇所ならびに寄稿規程を記して、各位のご理解ご協力をお願いいたしますとともに、振つて会員各位のご投稿をお待ちいたします。

なお、本誌「鉄と鋼」では読者の希望するすぐれた論文や技術報告、その他の興味ある記事を多数掲載するため、投稿の勧誘を行なうこともあります。原則として会員の自由投稿を主軸として編集しておりますことを申し添えます。

主な改訂箇所

		現 状	改訂（昭和50年1月1日より）
ページ数	論 文	制限なし	刷り上り10ページ以内
	技 術 報 告	刷り上り5ページ以内	刷り上り7ページ以内
図 面	原稿の墨入れ	協会でトレースしている	文字、記号を除き著者が墨入れしたものを投稿（著者が墨入れしたものが、そのまま製版される）
	用 紙	任意の用紙	所定の用紙
原稿提出		オリジナル原稿のみ	申込書+オリジナル原稿+コピー原稿1部 (不慮の事故にそなえるため)